

## 安全に関する改善事例

記入日: 2005年 10月 21日

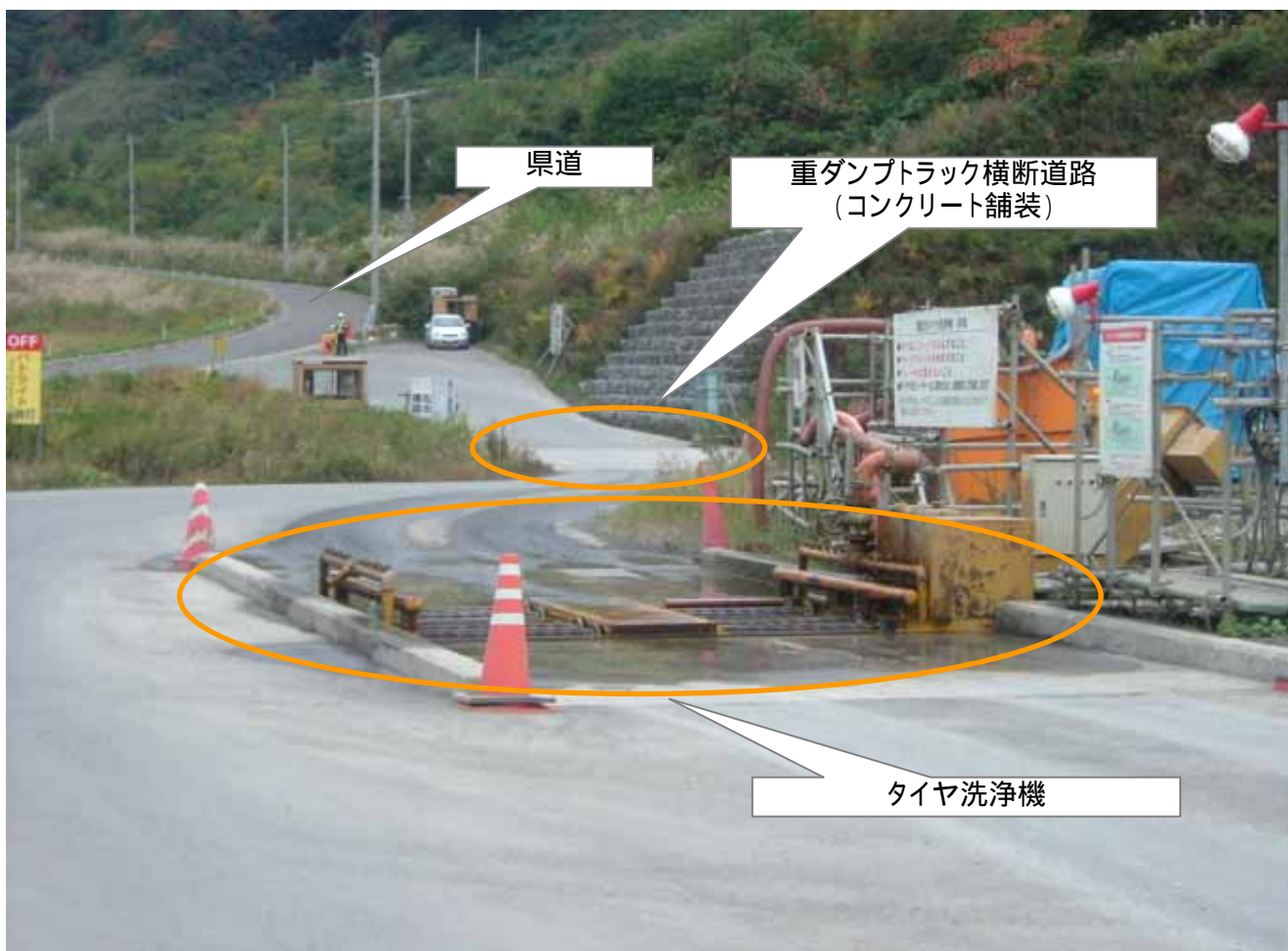
(所属会社)

(氏名)

(連絡先電話番号)

記入者:

ダム名	所在地県名	発注者	型式	ダム諸元		
				堤高(m)	堤頂長(m)	堤体積(千m3)
森吉山ダム	秋田県	東北地方整備局	R	89.9	786	5850
設計・施工区分	工種	想定される事故の種類	想定される事故の要因	危険作業の種類	設計変更の有無	
施工	仮設備工	交通事故	人的・設備	挟まれ・作業環境	(有) : 無	
改善の概要: 工所用道路から県道への出入口において、車両の通行により工所用道路の泥土が県道に出て、人力での道路清掃をしていたが、車両の通行が多く非常に危険であった。このため、県道への取り付け部をアスファルト舗装(重ダンプトラック走行部はコンクリート舗装)とするとともに、タイヤ洗浄機を配置した。						特許の有無
						有 : (無)
メリット: 自動タイヤ洗浄機および取付部の舗装により、路面が汚れず、人力清掃作業による交通災害発生危険度を大幅に低減できた。			デメリット: 洗浄設備および取付舗装などのイニシャルコストは大きい。しかし、長期的に見て、人力清掃と比較してライニングコストは少ない。			
改善後 (略図または写真)						



県道は観光客などの通行が多く、泥土による路面汚濁により車両が汚れるなどの苦情があった。このため、降雨時や降雨後には人力で路面清掃を行ったが、車両の走行が多く非常に危険であった。また、この出入口は当方だけが利用しているものではなく、関連工事業者も使用しているため、清掃行為に対する責任分担が不明確であった。このため、当JVにて道路維持清掃を行うこととして、タイヤ洗浄機の設置、取付舗装およびロードスィーパーによる清掃を提案し、設計変更となった。

なお、他の2箇所の出入口についても同様にタイヤ洗浄機の設置および取付部の舗装を認めていただいた。